

MRIで撮像された画像情報を用いる 医用超音波画像の画質改善

研究キーワード

超音波Bモード画像、MRI、T1画像、
T2画像、音速分布、画質補正



通信・情報処理

電気・電子

物理・計測

機 械

建築・土木

金 属

化 学

農 水

バイオ

生活・社会・環境

医療・福祉・健康

その他



あき やま

秋山 いわき

Iwaki Akiyama

生命医科学部 医情報学科

研究シーズ概要

従来の超音波診断装置による生体内部の画像、いわゆるBモード画像は、音速を一定と近似して映像化するため、音速の異なる皮下脂肪層等によって画質は劣化する。そこで、MRIで撮像された生体内部のT1およびT2画像から音速分布を推定する技術と、推定された生体内部の音速分布を考慮した超音波イメージング技術。

使用用途 応用例など

臨床診断における生体内部の無侵襲、非観血の実時間観測